

## 2023年度事業報告について

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

### 1. 大同生命地域研究賞

(定款第4条第1号に該当)

大同生命地域研究賞は、地球的規模における地域の総合的研究の一層の発展を支援することを目的として、1986年に創設された。

本財団の設立目的である国際相互理解の向上にあたり、地域研究が指向する目的と基本において一致することから、この賞を設け、学会関係者の指導、協力を得て主宰してきた。

#### (1) 第38回 大同生命地域研究賞の贈呈

推薦書受付、選考委員会ならびに贈呈式の開催状況は以下のとおり。

##### 1) 推薦書受付

- ①推薦委員数：92名(2023年3月末)
- ②推薦期間：2月24日～4月28日
- ③受付件数：30件(研究賞10件、奨励賞16件、特別賞4件)

##### 2) 選考委員会

- ①開催日：2023年5月31日(水)
- ②開催場所：クラブ関西(大阪市北区)
- ③出席委員：井上 真 氏(早稲田大学人間科学学術院教授、  
東京大学名誉教授)  
臼杵 陽 氏(日本女子大学文学部教授、日本女子大学  
大学院文学研究科・研究科長)[選考委員  
会委員長]  
小長谷 有紀 氏(独立行政法人日本学術振興会監事)  
關 雄二 氏(国立民族学博物館名誉教授)  
松田 素二 氏(総合地球環境学研究所特任教授、  
京都大学名誉教授)

④受賞者：以下のとおり。

○大同生命地域研究賞（副賞 300万円）

- ・「地中海・中近東地域における牧畜文化の歴史文化的意味に関する研究」に対して  
京都大学 名誉教授 谷 泰 氏

○大同生命地域研究奨励賞（副賞 100万円）

- ・「中国・客家の国際的ネットワークと「原郷」空間創出を事例とした、グローバル化時代の新しい地域研究の創成」に対して  
東京都立大学人文社会学部准教授 河合 洋尚 氏
- ・「ベネズエラを中心とするラテンアメリカの政治経済研究」に対して  
日本貿易振興機構アジア経済研究所地域研究センター  
主任調査研究員 坂口 安紀 氏
- ・「ソロモン諸島を基盤とする人類進化と適応に関する学際的地域研究の新展開」に対して  
京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究  
研究科教授 古澤 拓郎 氏

○大同生命地域研究特別賞（副賞 100万円）

- ・「アンコール・ワット『ISO14001』（環境マネジメントシステム）  
認証取得のための環境保全活動」  
に対して  
上智大学アジア人材養成研究センター研究員 ラオ・キム・リアン 氏

3) 贈呈式

2023年7月25日（火）にクラブ関西（大阪）で開催。

(2) 大同生命地域研究賞講演会の開催

受賞者の研究成果の披露および賞の知名度の一層の向上等を兼ねた講演会を、2023年11月3日（金・祝）、KITENA新大阪（大阪市東淀川区）にて、以下のとおり開催。

〔講演会の概要〕

講演者		テーマ
山崎 哲秀 氏	一般社団法人アバンナット北極プロジェクト 代表理事 2022年度大同生命 地域研究特別賞受賞者	「グリーンランド極北地方の自然環境と 住む人々の生活環境の変化」

2. 翻訳出版

(定款第4条第2号に該当)

(1) アジア諸国の現代文芸作品の日本語翻訳出版

＜「アジアの現代文芸」シリーズ＞

- ・以下のとおり、翻訳・出版した(2,500部)。
- ・書籍は、全国の大学・公立図書館等に寄贈し、電子書籍は当財団のホームページ上等で無料公開した。
- ・これにより対象国は14カ国、出版作品数は81作品となった。

No.81 カンボジア④ 『現代カンボジア短編集2』

- ・カンボジア作品として、4作品目。
- ・カンボジアでは経済発展に伴い、都市住民が読書に高い関心を持つようになり、若手作家が作品を発表する機会が増えている。ポル・ポト時代終焉後の人々の日々の暮らしにまつわる小さなエピソードや次の世代の想いが込められた物語等のエッセイ・短編小説を翻訳・出版。2023年は、日本・カンボジア外交関係樹立70周年の年にあたる。
- ・著者 ヴァンディ・カオン、バン・ソバタナほか
- ・編訳者 岡田知子、調邦行(翻訳家)

〔広報の充実〕

- ・新刊発刊時にニュース・リリースを発信した。
- ・これまで当該シリーズで発刊した全81作品をコンパクトに掲載したリーフレットを上記作品寄贈時に同封・配布した。
- ・電子書籍については、当財団ホームページ上に加え、「青空文庫」の電子書籍専用サイトからも閲覧・ダウンロード(無料公開)可能とした。

【電子書籍での無料公開】

- ・上記作品は電子書籍でも公開。
- ・電子書籍の出版作品数は、計58作品。

(2) アジア各国語への翻訳出版

＜「ジャパニーズ・ミラーズ」シリーズ＞

本年度の出版作品は、以下のとおり。

これにより対象国は8カ国、出版作品数は49作品となった。作品は、現地の図書館・教育機関・団体等を中心に寄贈(2,000部)。

No.49 ラオス語⑥『松下幸之助物語』～一代で世界企業を築いた実業家～

- ・ラオス語への翻訳作品として、6作品目。
- ・9歳で火鉢店の小僧になり、その後、父母兄弟が次々に死去。本人も生涯病気がちながら、数々の逆境を乗り越え、偉業を成し遂げたパナソニックの創業者・松下幸之助の一生を描いた作品。
- ・著者 渡邊 祐介
- ・訳者 チャンタソン・インタヴォン(翻訳家)

3. 教育支援

(定款第4条第4号に該当)

勉学環境に恵まれない東南アジアの生徒のために、次の支援を実施した。

① ラオス：

- ・3校(シビレイ小学校、ウンパウン小学校、ドンカンクー小学校)に図書を寄贈。

\* 3校は当財団が建設した学校

② カンボジア：

- ・3校(オーニョ小学校、プアーク中学校、トノルバンベーク小学校)に図書を寄贈。

\* 3校は当財団が建設した学校

③ ミャンマー：

- ・3寺子屋学校(ピンレーブ、ミガダーウオン、ナツマウツ)に学用品(ノート、鉛筆、ボールペン)を寄贈。

\* 3寺子屋学校は当財団が建設した学校

- ・浄水プロジェクト(学校に浄水装置を設置することで、安全な飲み水を確保し、生徒たちの健康を守るプロジェクト/クラウドファンディング)に参加し、同プロジェクトの目的を達成。

以上

## 「附属明細書」について

2023年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

以 上